



巻頭言

耳鼻咽喉科

講師 / ふじい なおかず
藤居 直和



春の陽気が待ち遠しい今日この頃ではありますが、暖くなるにつれてスギ花粉症の時期も近づいてきます。スギ花粉症をお持ちの方にとって残念なことに今年花粉の飛散量が多く、関東ではほとんどの地域で昨年以上であり、地域によっては2倍近く、また過去10年平均も超えるようです。そのため花粉症の治療に関してお話ししたいと思います。

花粉症治療の第一歩は抗原の除去・回避です。マスク、眼鏡・ゴーグルの着用がよく知られた防御策ですが、近年は鼻洗浄や空気清浄機を利用される方も増えてきました。ただし、抗原の除去・回避だけで花粉症症状を緩和させることは容易ではありません。

根本的な花粉症の治療として、徐々に体を花粉に慣らしていく舌下免疫療法がありますが、長期的な投与の後に効果がでることや、花粉のシーズン中には開始できないなどの欠点のため、抗ヒスタミン剤や点鼻噴霧ステロイド薬による治療が中心となっていることは変わりありません。特に花粉症患者の約9割に処方されている第二世代抗ヒスタミン薬は種類も多く、効果、眠気などの副作用、用法・用量、剤形なども薬によって異なります。**医師にご自身が求めるニーズをしっかりと伝えて、最も合った薬を処方してもらうことが重要です。**

2020年からアレルギーを引き起こすIgEという免疫物質を押さえることができる、オマリズマブという薬が保険適用になりました。これは一般的な薬剤を使用してもコントロールできない症状に対して強い効果を期待できる薬なのですが、無条件に使用できる薬剤ではなく、12歳以上、スギ花粉症が重症以上、血液検査でスギ特異的IgE値がクラス3以上、一般的な治療で効果が乏しいなど、条件を満たした場合にスギ花粉時期に限定して使用できます。高価な薬剤であるため保険適用でも自己負担額が高いという欠点もありますが、気になる方は耳鼻咽喉科でご相談ください。

最後に、**当院では難治性鼻炎の方に対してレーザー治療や手術治療（鼻中隔矯正術・下鼻甲介手術・後鼻神経切断術）を積極的に行っています。**レーザー治療のみであれば日帰りで行うことができますが、手術治療を行う場合は入院が必要になります。手術適応はそれぞれ異なりますので、薬の効果が乏しく鼻症状でお困りの方は、ぜひ耳鼻咽喉科外来にご相談いただければ幸いです。



第95号のトピックス

- 巻頭言（耳鼻咽喉科）
- 当院の行事食・お祝い善・産科食の紹介
- 専門診療のお知らせ（泌尿器科）
- ご意見ご要望
- 編集後記

当院の行事食・お祝い膳・産科食の紹介

栄養科 管理栄養士 / やまざき たくま
山崎 卓磨

行事食

月に1度の行事食では、特別感のある料理の提供を心がけています。

新型コロナ禍で海外渡航も長らく制限されるなか、入院患者さんに少しでも海外旅行気分を味わっていただこうと、担当者がガパオライスを考案しました。本場のタイ料理を再現しつつ、和風調味料を合わせることで、多くの方に楽しんでいただける味に仕上がりました。こちらは今年度の第24・第25回病態栄養学会年次学術集会のレシピコンテストにも出展しております。提供後は、ありがたいことに多くの入院患者さんから、食札を通して温かいメッセージをいただきました。今年2月の行事食（バレンタインデー）メニューは、サフランライス、ビーフストロガノフ、マッシュポテト、ティラミス風ゼリーです。昨年好評いただいたメニューをさらにリニューアルしました。



6月の行事食（ガパオライス）



2月の行事食（ビーフストロガノフ）

お祝い膳・産科

当院産科でのご出産のお祝いとして、退院前日の夕食に調理師特製の「お祝い膳」をご提供しております。メニューは、「アクアパッツァ」と「牛肉の赤ワイン煮」の2種類です。開院当初からの人気メニューです。今年度は、量も質もさらに豪華になりました。

また、産科一般食も今年度から生果物を毎食付加するなど、栄養補給を十分にしながら、お食事を楽しんでいただけるよう工夫しております。



お祝い膳～アクアパッツァ～



～牛肉の赤ワイン煮～

皆さまに喜んでいただける病院食になるよう今後とも努めて参ります。

尿意切迫感がある女性の方対象

過活動膀胱に対する ボトックス療法(※)

※ボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法

はじめました。

過活動膀胱では、尿意切迫感が強く、多くは頻尿と夜間頻尿を伴います。切迫性尿失禁もある場合、生活の質(QOL)が損なわれることも、決して少なくありません。

治療にはまず、行動療法や薬物療法から治療を開始し、3ヶ月ほど継続しても症状の改善がない場合、難治性過活動膀胱のためにボトックス療法を行います。



森田 将医師

【対象となる症状】



「我慢できずにもれてしまう」





「夜中にトイレのために
何度も起きる」



「急にトイレに行きたくなる」 など

ご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>こちらの病院は診療科が多く、様々な病気に対応しており、自宅からも近く便利で、今の病気になってからずっと通院していたので、受診先を変えたくないです。転院は突然の話で特に説明もなかったので戸惑っています。</p> 	<p>貴重なご意見ありがとうございました。突然の受診先の変更に関しては、患者さんに十分な説明がなかったことは大変申し訳なく思っております。また、患者さんにご理解頂きたいこともございます。当院は大学病院として地域の高度先進医療機関の中樞を担っております。多くの患者さんに高度な医療を提供するには、状態が安定していらっしゃる患者さんには近隣の医院での内服管理をお願いしております。何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：循環器内科</p>
<p>受付事務さんが各科の医師とスムーズなやりとりのサポートをしてくれ、最高の対応でした。お腹の痛みが日々増して心配だったが、医師の診察・血液検査・CTでチェック後さらに結論を教えてくれ、とてもリーズナブルで付加価値の高い対話をさせて頂き安心しました。</p>	<p>このような感謝のお言葉は診療の励みになります。ありがとうございます。担当者に申し伝えます。</p>  <p style="text-align: right;">回答部署：消化器内科</p>



編集後記

3月ですね、私の大好きな月です。学校では卒業式が、また職場では異動の多い、少し寂しい月ではありますが。その一方で、大切な人との思い出を振り返り、懐かしみ、絆を深める感慨深い月でもあります。現在は、コロナ禍で叶いませんが、私の職場では、異動や退職で離れるスタッフに対して『送別会』ではなく『壮行会』を催します。これからの門出を祝うとともに、様々な理由で職場を離れるスタッフが、気持ちや環境に変化があった時にまた戻ることができる、そんな職場でありたいと思っているからです。離れるスタッフの方々、本当に有難うございました。また、一緒に働きましょう。

さて、そんなしみじみとする3月ですが、中旬になると桜が咲きます。桜を観ると気持ちが一新できますよね。このような時期なので静かにですが、桜を観に行きませんか？コロナ禍の憂鬱な気持ちを、きっと吹き飛ばしてくれます！

消化器内科 のむら のりひろ
野村 憲弘



昭和大学
SHOWA UNIVERSITY

昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ

Showa University KotoToyosu Hospital